

Title	医学系図書館Webサイトのユーザビリティ
Author(s)	黨, 崇仁
Journal	医学図書館, 53(2): 149-155
URL	http://hdl.handle.net/10130/257
Right	

医学系図書館Webサイトのユーザビリティ

Usability of medical library Web site.

In today's library, a lot of information is offered online, and the Web site bears the key role. However, the user request is not promptly searchable, because information on the library Web site keeps increasing. The Web usability is easiness of the Web site to use. The user can win one's end easily by the Web usability on the site. The Web usability of the medical library was investigated this time.

Key words : User-Computer Interface ; Internet ; Library,Medical ; Information Services

I. はじめに

今日の図書館においては、蔵書検索をはじめ、オンラインジャーナル、データベース等、多くの情報がオンラインで提供され、Web サイトが重要な役割を担っている。しかし、公開される情報が増加の一途を辿り、利用者が求める情報を速やかに探せない図書館Web サイトも多い。

WebユーザビリティとはWebサイトの使い勝手のよさのことであり、Webユーザビリティに配慮することによって、利用者はそのWebサイトで容易に目的を達成することができる。

今回は医学系図書館Webサイトを対象に、Webユーザビリティへの配慮がどの程度行われているのか調査を行った。

II. Webユーザビリティについて

ユーザビリティ(Usability)とは、そもそも製品などの使い勝手を表す言葉である。ISO9241-11におけるユーザビリティの定義とは、「ある製品が、指定された利用者によって、指定された利用の状況下で、指定された目的を達成するために用いられる際の、有効さ、効率及び利用者の満足度の度合い」¹⁾であり、ユーザビリティの高いWebサイトとは、利用者が

目的の行動を、少ない労力で満足とともに達成できるサイトであると言える。

Webユーザビリティについて考慮する上で重要なのは、「誰に対して」「何を目的として」といったサイトコンセプトの明確化²⁾である。これにより、利用者が目的を達成するまでの学習のしやすさに重点を置いたサイト設計が可能であり、それはユーザビリティの向上へと繋がる。

大学図書館のWebサイトはサイトコンセプトを明確にしやすく、「大学図書館トップページのガイドライン」³⁾の作成もなされている。ガイドラインに沿った形で作成されることによって、利用者が目的を達成させるまでの学習のしやすさを向上させることもできる。

Webユーザビリティと同様にサイト構築の上で重要なのが、Webアクセシビリティである。Webアクセシビリティとは、使い勝手よりも前に、まずそのWebサイトにアクセスできるかどうかという情報伝達の保証に重点が置かれている。

Webアクセシビリティについては、「Web Content Accessibility Guidelines 1.0」⁴⁾や、日本でも2004年6月に公示された「JIS X8341-3:2004 高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス - 第3部：ウェブコンテンツ」⁵⁾などがある。

WebユーザビリティもWebアクセシビリティも、利用者が快適に目的を達成してもらう点では同じで、アクセシビリティの向上とユーザビリティの向上とは相互に関係するが、今回の調査ではWebユーザビリティに主眼を置いた。

III. 調査方法

1. 調査対象

調査期間は2005年10月1日から10月31日の1ヶ月間とし、調査対象はJMLAに加盟する医学系・歯学系大学図書館で自館Webサイトを公開している89館のうち、コンテンツを本館に依存せず、医学系図書館としてコンテンツを独自に構築し、学内だけでなく学外にも公開している67館(表1)とした。また、調査対象はトップページとし、必要な場合はトップページから直接

リンクされているページを参照した。

2. 調査項目

大学図書館 Web サイトとして必要なユーザビリティの項目は、「大学図書館トップページのガイドライン」を参考に、医学系図書館として必要な項目は、東京歯科大学図書館 Web サイトの 2001 年 11 月から 2002 年 12 月までのアクセス解析結果⁶⁾を元に設定した。

アクセス解析では、「OPAC」、「トップページ」、「利用案内」、「新着図書」、「リンク集」、独自に作成している「PubMed マニュアル」、そして「オンラインジャーナル一覧」を調査対象コンテンツと設定した。

トップページへのアクセスは、総アクセス数の半数以上が学外からのアクセスであった。また、「OPAC」、「オンラインジャーナル」、「リンク集」については学内からの利用が多く、「利用案内」は学外からの利用がほとんどであった。最もアクセスの多いコンテンツは「OPAC」であった。

外部コンテンツへのアクセスは上位がデータベースを占め、PubMed へのアクセスが最も多い結果となった。

以上のアクセス解析結果から、医学系図書館としての調査項目として、「所蔵状況を迅速に調べられるよう、トップページに OPAC 検索窓または検索ページへの独立したリンクを用意する」、「学外者への利用案内を用意する」、「電子ジャーナルへのリンクを用意する」、「文献検索データベースを表示する」の 4 項目を設定した。

この医学系図書館としての調査項目と「大学図書館トップページのガイドライン」から、「1. 構成・基本デザイン」、「2. 表示内容」、「3. 表示・レイアウト」の 3 分類、28 項目を設定し、医学系図書館 Web サイトのユーザビリティについて調査を行った。なお、医学系図書館としての調査項目は、主に「2. 表示内容」に関する調査項目に反映させた。また、Web サイトを構築する上で基本的とされる項目については、「ウェブ・ユーザビリティ&アクセシビリティ・ガイドライン」⁷⁾をあわせて参考にした。

IV. 結果・考察

1. 構成・基本デザイン

「構成・基本デザイン」では 6 項目について調査を行った (表 2)。

「1-3. サイト全体で首尾一貫したレイアウトにする」がもっとも少なく 34 館 (51%) であった。全体を統一したページデザインにしないと、利用者はナビゲーションなどの操作を学習できず効率が悪いばかりでなく、ページ移動の際にどこの Web サイトにいるのか、外部リンク先に移動してしまったのか混乱を招いてしまう。

コンテンツの分類に関する項目である「1-1. トップページのコンテンツを適当な数の大項目に分類し、下位に分類される項目は大項目のもとに明示する」は 38 館 (57%) であった。この項目は、利用者がコンテンツを一覧して求める情報に容易にたどり着くために重要な項目である。コンテンツの見出しには大きく分けて、大項目だけを表示させるものと、コンテンツを分類して大項目のもとに小項目として表示させる 2 種類の表示方法がある。しかし、大項目だけを表示させている場合、利用者は求める情報がどの項目に入っているのかいちいちクリックして探さなければならず、大変な手間がかかる。

コンテンツの分類数については、38 館中、もっとも多かったのが 7 分類で 11 館 (28%) であった。平均して 8.1 分類であった (図 1)。

Web サイトを構築する上で基本とされる項目については、「1-5. 利用者にとって無意味な動画や音声は使わない」が 66 館 (99%)、「1-6. アクセシビリティや他の Web ページからのリンクが不便なフレームなどの機能は使わない」が 56 館 (84%) であったのに対し、「1-2. ページの幅は 780 ピクセル以下で作成し、横スクロールをしなくても重要な情報が見られるようにする」は 41 館 (61%) であった。利用者の閲覧環境は高解像度になりつつあるが、高解像度環境においても「お気に入り」などのツールバーを出したまま作業をする場合も多く、780 ピクセル以下、ないしは横幅が固定されないリキッドレイアウトにて作成すべきである。また、一般的に 800×600 ピクセルでの閲覧環境を想定するが、ブラウザのスクロールバー等で 800 ピクセル全てを使えるわけではないことを考慮する必

要がある。

2. 表示内容

「表示内容」では 17 項目について調査を行った(表 3)。

医学系図書館 Web サイトとして必要な項目については、「2-16. 文献検索データベースを表示する」が 50 館 (75%)、「2-17. 電子ジャーナルへのリンクを用意する」が 62 館 (93%) と、それぞれユーザビリティに配慮をしているのに対し、「2-9. 所蔵状況を迅速に調べられるよう、トップページに OPAC 検索窓または検索ページへの独立したリンクを用意する」は 19 館 (28%) であった。また、「2-10. カレンダーを表示する」は 13 館 (19%)、「2-15. オンラインで図書館サービスの依頼を受け付ける」は 25 館 (37%) と、利用者の利便性が上がる項目ほど低い結果となった。理由として、Web サイトへの設置に技術や知識を要するためと思われる。

「2-14. 学外者への利用案内を用意する」は 38 館 (57%) であった。「2-13. 利用案内を表示する」は 65 館 (97%) と、ほぼ全ての図書館 Web サイトにおいて利用案内は用意されていたが、その中に学外者向けの利用案内も掲載されている場合が多く、学外の利用者に対して公開しているコンテンツについては、それと分かる分類の元に提供すべきである。

「2-12. 大学トップページや大学の他の組織のトップページと校章などで統一感を持たせる」は 19 館 (28%) と低い結果となったが、学内へのアピールはもちろんのこと、どこの大学図書館 Web サイトであるのか分かりやすくするために重要な項目である。

図書館 Web サイトから提供されるコンテンツの利用方法について定めた、「2-7. 著作権関連情報を明示する」は 4 館 (6%) と非常に低い結果となった。データベースの検索マニュアルなど独自のコンテンツを公開している図書館も多く、公開しているオリジナルコンテンツの利用方法に関して明示する必要がある。

3. 表示・レイアウト

「表示・レイアウト」では 5 項目につい

て調査を行った(表 4)。

「3-1. title 要素でサイトを明確に示すタイトルをつける」は 49 館 (73%) であった。title 要素に図書館名をつけずに、「medical library」「医学図書館」など、どこの図書館 Web サイトであるのか分からないタイトルや、図書館の省略名をつけたタイトルが見られたが、title 要素はブラウザのタイトルバーに表示されるだけでなく「お気に入り」で表示される項目でもあるために、明確なタイトルをつける必要がある。また、検索エンジンでは一般的に title 要素中の言葉に高いポイントをつけるため、明確なタイトルによって Web ページの検索性向上も期待できる。よって、本文が日本語の場合は、タイトルも英語名ではなく日本語名でつけるべきである。

「3-4. リンク部分の下線は消さず、リンクカラーもデフォルトに近い色を設定し、感覚的に分かるようにする」は 46 館 (69%) であった。利用者は経験上、ブラウザのデフォルトである青色で下線のあるテキストがリンクであると認識しているため、リンクはデフォルトに近い色に設定すると分かりやすい。無意味に下線をはずしたり色を変えたりすると、どこがリンクであるのか、すべての文字上にカーソルを操作しなければならず不便である。また、テキストに下線を多用するとリンク部分と紛らわしくなるため、必要最低限にとどめるべきである。

「3-5. OPAC 等の使用頻度の高いコンテンツや速報性が重要なニュースなどは、トップページの上部に表示する」は 17 館 (25%) と低い結果となった。ページ上部の、ブラウザをスクロールせずに閲覧可能な範囲のことを、一般に **Above the Fold** (新聞の折り目の上) と呼ぶ。この範囲は利用者の閲覧環境によって異なるが、調査項目 1-2 と同じく 800×600 ピクセルでの閲覧環境を考慮する必要がある。利用者はこの範囲内の情報から、まず自分に必要な情報を探すため、利用者にとって必要なコンテンツを掲載すべきである。ただし、コンテンツの分類は数が多すぎても利用者は使いづらく、必要なコンテンツを絞る方が効果的である。

トップページ上部のコンテンツ分類数については、17 館中、もっとも多かったのが

4分類で5館(28%)だった。平均して4.8分類だった(図2)。

また、コンテンツとして一番多かったのがPubMedで15館と蔵書検索よりも多く、トップページ上部にコンテンツを表示させている図書館Webサイトのほとんどで採用されていた(図3)。

V. まとめ

今回の調査項目である28項目のうち、もっとも多く対応していた図書館Webサイトで23項目、もっとも少ないサイトで9項目だった(図4)。ユーザビリティに対する意識の差による二極化を予想したもののその差は小さく、どの図書館Webサイトにおいてもユーザビリティへの配慮がなされている結果となった。

各調査項目の対応状況は、「1. 構成・基本デザイン」では平均49館(73%)、「2. 表示内容」では平均38館(57%)、「3. 表示・レイアウト」では平均39館(58%)と、「1. 構成・基本デザイン」に比べて他の項目は低い結果となった。提供しているコンテンツを利用者に対してどう提供すべきか、アクセス解析を行うことによって把握し、その結果を元にユーザビリティについて見直す必要がある。

VI. おわりに

東京歯科大学図書館では2005年3月にWebサイト⁸⁾のリニューアルを行った(図5)。今回の調査項目ではもっとも多い23項目に該当し、ユーザビリティに関して概ね満足できる結果となった。

実際の図書館では、資料の分類や配架、館内掲示やサインなど、利用者が速やかにそして快適に目的を達成するための工夫が随所にされている。これは図書館Webサイトにおいてもまったく同じことが言える。利用者の視点に立ち、Webサイトを見直すことによって、ユーザビリティは格段に向上するだろう。

本稿は2005年11月14日、東京歯科大学血脇記念ホールで開催された第12回医学図書館研究会において発表した内容に加筆、起稿したものである。

参考文献

- 1) 日本規格協会.JIS Z8521:1999(ISO 9241 - 11:1998) 人間工学 - 視覚表示装置を用いるオフィス作業 - 使用性についての手引.東京:日本規格協会;1999.
- 2) 特集 1.使いやすさとデザインを考える Web のユニバーサルデザインって何ですか?. Web Designing 2002;2(5):40-63.
- 3) 大学図書館トップページのガイドライン [internet]. <http://www.slis.keio.ac.jp/~ueda/univlibguide/toppageguideline.html> [accessed 2006-2-20]
- 4) Web Content Accessibility Guidelines 1.0 [internet]. <http://www.w3.org/TR/WAI-WEB-CONTENT/> [accessed 2006-2-20]
- 5) 日本規格協会. JIS X8341 - 3:2004 高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス - 第3部:ウェブコンテンツ.東京:日本規格協会;2004.
- 6) 阿部潤也. 図書館 WWW サイトを評価する:アクセスログの解析から. 医学図書館 2003;50(3):268-72.
- 7) 石田優子. ウェブ・ユーザビリティ & アクセシビリティ・ガイドライン. 東京:毎日コミュニケーションズ;2003.
- 8) 東京歯科大学図書館 [internet].<http://www.tdc.ac.jp/lib/> [accessed 2006-2-20]

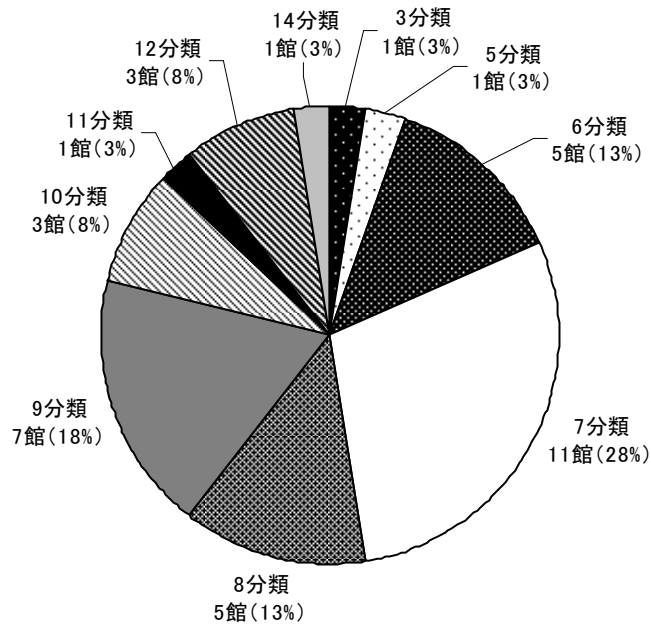


図1. トップページコンテンツ分類数

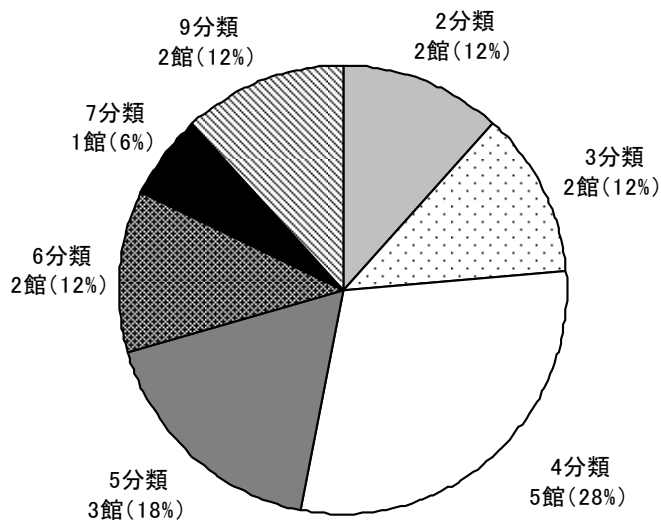


図2. トップページ上部表示コンテンツ分類数

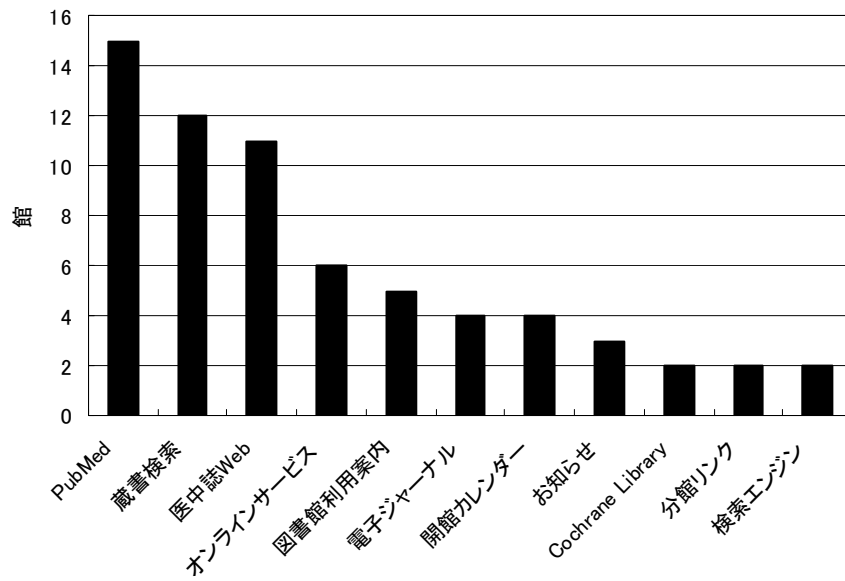


図3. トップページ上部表示コンテンツ

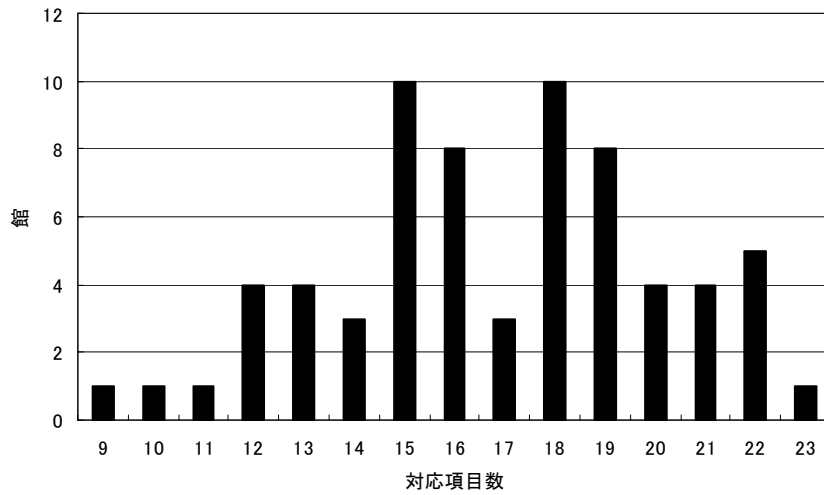


図4. 調査項目の対応状況

蔵書検索

検索

標準検索

詳細検索

利用方法

PubMed

- PubMed Overview
- Journals Database
- 日本語マニュアル

医中誌WEB

- 医中誌について
- 収録誌検索
- マニュアル

SCOPUS

- scopusについて
- 収録誌
- マニュアル

お知らせ

- 2月新着図書(千葉)受け入れました(03/22)
- 卒業論文検索について(03/16)
- 2005年分和雑誌移動について(03/15)
- 2月新着図書(市川)受け入れました(03/13)
- 2005年分洋雑誌移動について(03/14)

>>すべてを表示

図書館利用案内

- 利用案内
- 同意の方へ
- アクセスマップ

各種問い合わせ

- 利用問い合わせ
- 大型プリンタ予約確認
- 文献複写申込み
- 購入希望図書申込み
- 代行検索申込み
- お問い合わせ

リンク

- 東京歯科大学
- 教育用web(学内限定)
- TDC Portal(学内限定)
- リンク集

各種団体

- 日本歯科医師会
- ADA.org
- 厚生労働省
- 歯科医療研究振興財団
- 医学教育振興センター
- その他各種団体

資料検索

- 当館蔵書検索
- Webcat
- Webcat Plus
- NDL-OPAC
- JST資料所蔵目録
- NLM LocatorPlus
- BL Integrated Catalogue
- CISTI Catalogue
- LC Online Catalog

図書・雑誌寄售

- 新着図書 新着雑誌
- 雑誌関連情報
- テーマ別図書リスト
- ビデオリスト

学会寄贈・控読規定

- 和雑誌控読規程集
- 洋雑誌控読規程集
- UMIN学会情報
- IMIC学会情報
- NII学会情報
- GANET

データベース

- JDream
- Cochrane Library
- 官報検索
- JCR:インパクト・ファクター
- 雑誌記事索引検索
- 本学学位論文データベース
- 「歯科学報」総索引
- 卒業論文検索
- Genii
- 厚生労働科学研究成果
- 統計データポータルサイト
- その他データベース

電子ジャーナル

- 当館所蔵フルテキスト
- Blackwell Synergy
- Wiley InterScience
- ScienceDirect
- J-STAGE
- ELbis
- HighWire Press
- PubMed Central
- Bulletin of Tokyo Dental College
- PLoS
- BioMed Central
- DOAJ

開館カレンダー

2005年3月							> 4月 > 5月
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	08:45~20:00 ■休・閉館
5	6	7	8	9	10	11	■8:45~13:00
12	13	14	15	16	17	18	■8:45~12:00
19	20	21	22	23	24	25	■8:45~17:00
26	27	28	29	30	31		■8:45~18:00 ■10:00~17:00 10:00~18:00

Google™

検索

web全体 東京歯科大学

ページトップへ

図5. 東京歯科大学図書館トップページ

【医学系加盟館】	
北海道大学医学部図書館	http://www.lib.hokudai.ac.jp/faculties/med/index.html
札幌医科大学附属図書館	http://www.sapmed.ac.jp/satui/libr/libr_home.html
旭川医科大学附属図書館	http://acesv.asahikawa-med.ac.jp/
北海道医療大学総合図書館	http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/library/
弘前大学附属図書館医学部分館	http://hippo.med.hirosaki-u.ac.jp/mlib/index.html
岩手医科大学附属図書館	http://www.lib.iwate-med.ac.jp/index.html
東北大学附属図書館医学分館	http://www.library.tohoku.ac.jp/med/index.html
秋田大学附属図書館医学部分館	http://libra.med.akita-u.ac.jp/
山形大学附属図書館医学部分館	http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/medical/MedMain.shtml
福島県立医科大学附属図書館	http://www-lib.fmu.ac.jp/
獨協医科大学図書館	http://www.dokkyomed.ac.jp/lib/index-j.html
自治医科大学図書館	http://lib.jichi.ac.jp/
群馬大学附属図書館医学部分館	http://www.mlib.gunma-u.ac.jp/
日本大学医学部図書館	http://www.med.nihon-u.ac.jp/library/
日本医科大学図書館	http://libserve.nms.ac.jp/
東京大学医学図書館	http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/
東京医科歯科大学附属図書館	http://lib.tmd.ac.jp/
慶應義塾大学信濃町メディアセンター	http://www.med.lib.keio.ac.jp/index.html
東京女子医科大学図書館	http://www.twmu.ac.jp/U/facilities/f04library.html
昭和大学図書館	http://lib.showa-u.ac.jp/
東邦大学医学メディアセンター	http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/
杏林大学医学図書館	http://libweb.kyorin-u.ac.jp/medlib/index.html
横浜市立大学医学情報センター	http://opac.yokohama-cu.ac.jp/
北里大学医学図書館	http://mlib.kitasato-u.ac.jp/homepage/mlib.html
聖マリアンナ医科大学附属図書館	http://mic.marianna-u.ac.jp/
麻布大学附属学術情報センター	http://turf.azabu-u.ac.jp/
女子栄養大学図書館	http://www.eiyo.ac.jp/library/
富山医科薬科大学附属図書館	http://www.toyama-mpu.ac.jp/library/
福井大学附属図書館医学図書館	http://lib02.fukui-med.ac.jp/
信州大学附属図書館医学部図書館	http://mlib.md.shinshu-u.ac.jp/
岐阜大学図書館	http://www.gifu-u.ac.jp/gulib/
浜松医科大学附属図書館	http://www2.hama-med.ac.jp/w3a/toshokan/homepage.html
名古屋市立大学総合情報センター川澄分館	http://www.lib.nagoya-cu.ac.jp/kawasumi/index.html
藤田学園医学・保健衛生学図書館	http://library.fujita-hu.ac.jp/index.html
愛知医科大学医学情報センター	http://www2.aichi-med-u.ac.jp/micl/index.html
滋賀医科大学附属図書館	http://www.shiga-med.ac.jp/library/
京都大学医学図書館	http://www.lib.med.kyoto-u.ac.jp/
京都府立医科大学附属図書館	http://www2.kpu-m.ac.jp/library/
関西医科大学附属図書館	http://www2.kmu.ac.jp/libraryt/index.html
大阪医科大学図書館	http://www.osaka-med.ac.jp/tosho/
大阪大学附属図書館生命科学分館	http://seimei.library.osaka-u.ac.jp/
大阪市立大学学術情報総合センター医学分館	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/medlib/
近畿大学医学部図書館	http://www.med.kindai.ac.jp/libro/
神戸大学附属図書館医学部分館	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/igaku/index.html
兵庫医科大学図書館	http://www.hyo-med.ac.jp/204.html/libindex.html
奈良県立医科大学附属図書館	http://www.naramed-u.ac.jp/lib/
和歌山県立医科大学附属図書館	http://opac.wakayama-med.ac.jp/kimiidera/index.html
大阪体育大学図書館	http://lib.ouhs.ac.jp/
鳥取大学附属図書館医学部分館	http://lib.med.tottori-u.ac.jp/
広島大学附属図書館医学分館	http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/igaku/osirase.html
徳島大学附属図書館蔵本分館	http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/kura.shtml
香川大学附属図書館医学部分館	http://www.kms.ac.jp/libin/index.htm
愛媛大学附属図書館医学部分館	http://www.lib.ehime-u.ac.jp/IGAKU/index.html
高知大学附属図書館医学部分館	http://www.kochi-ms.ac.jp/of_lbrry/tosyokan.htm
九州大学附属図書館医学部分館	http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/libinf/med/index.html
久留米大学医学図書館	http://www.med.kurume-u.ac.jp/medlib/
産業医科大学図書館	http://www.lib.uoeh-u.ac.jp/TOP2.asp

【歯学系加盟館】	
東京歯科大学図書館	http://www.tdc.ac.jp/lib/
日本大学歯学部図書館	http://www.dent.nihon-u.ac.jp/library/j-lib00.html
日本歯科大学歯学部図書館	http://www.ndu.ac.jp:10080/mac2/ndulib.html
鶴見大学図書館	http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/index.html

神奈川県立歯科大学図書館	http://www.kdcnet.ac.jp/toshokan/library.htm
日本歯科大学新潟歯学部図書館	http://lib.ngt.ndu.ac.jp/
朝日大学図書館	http://library.asahi-u.ac.jp/
愛知学院大学歯学 薬学図書館情報センター	http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/
大阪歯科大学図書館	http://www.osaka-dent.ac.jp/library/default.htm
九州歯科大学附属図書館	http://www.kyu-dent.ac.jp/ LIB/

表 1 .調査対象館 (67館)

1-1	<p>トップページのコンテンツを適当な数の大項目に分類し、下位に分類される項目は大項目のもとに明示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツを一覧し利用者が求める情報に容易にたどり着くためには、大見出しだけではなくそのグループに含まれる項目も明示されることが重要である。 	38館
1-2	<p>ページの幅は780ピクセル以下で作成し、横スクロールをしなくても重要な情報が見られるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者はウインドウの縦スクロールより横スクロールを嫌う傾向にある。780ピクセル以下、または横幅固定よりもウインドウサイズによって変動する可変設定（キッドレイアウト）を採用する。 	41館
1-3	<p>サイト全体で首尾一貫したレイアウトにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン構成と基本操作に統一感があると、利用者にとっても何がどこにあるか、どのように操作すれば良いのかがわかりやすい。 	34館
1-4	<p>ファイル容量の大きい画像は使わず、ファイルの容量は小さくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザでの読み込みをすばやく行えるようにするため、画像は表示サイズに合わせて画像編集ソフトなどでファイル容量を小さくしておく。しかし、写真などは訴求力を高めるため使用したほうがよい。 	56館
1-5	<p>利用者にとって無意味な動画や音声は使わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって無意味な動画や音声は使わず、閲覧しやすいWebページにする。 	66館
1-6	<p>アクセシビリティや他のWebページからのリンクが不便なフレームなどの機能は使わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティに難があるだけでなく、検索エンジン結果からのアクセスに対しても不備がある。 	56館

表2. 「1.構成・基本デザイン」調査項目

2-1	お知らせを掲載し、速報性の求められる情報を提供する。 ・図書館からのお知らせを掲載する。スクロールすることなく閲覧可能であることが望ましい。	55館
2-2	お知らせに掲載日を明記する。 ・お知らせに掲載日を明記することによって、情報の鮮度が分かるようにする。	47館
2-3	大学のトップページへリンクをはる。 ・大学図書館は学習、教育、研究を支援する重要な機関であり、図書館Webサイトから大学Webサイトへ向かうことも多い。	56館
2-4	サイト内検索ボックスを設置する。 ・利用者が自分の言葉で情報を探せるよう、サイト内検索ボックスを設置する。	13館
2-5	問い合わせ手段（Webフォーム、メールアドレス等）を用意する。 ・オンラインで問い合わせを受けつけられるよう用意する。	49館
2-6	所在地 問い合わせ先を明記するか、これらのページへのリンクをはる。 ・所在を明記するだけでなく、オンライン以外での問い合わせ手段も用意する。	52館
2-7	著作権関連情報を明示する。 ・図書館Webサイトに掲載されている情報や画像の利用条件等を明示する。	4館
2-8	学外図書館、他の大学や関連機関、各種情報源へのリンクを示して、Webサイトの利用価値を高める。 ・リンク集を充実させ、維持することが望ましい。	56館
2-9	所蔵状況を迅速に調べられるよう、トップページにOPAC検索窓または検索ページへの独立したリンクを用意する。 ・蔵書検索は重要な機能のひとつであり、トップページにOPACの検索窓を設けるか、または検索画面へのリンクを独立した項目として用意することが望ましい。	19館
2-10	カレンダーを表示する。 ・問い合わせが多い図書館の開館日、開館時間等がわかるように開館カレンダーを表示する。	13館
2-11	英語ページを用意する。 ・留学生などへの案内と、世界に向けた情報発信を行うために必要である。	22館
2-12	大学トップページや大学の他の組織のトップページと校章などで統一感を持たせる。 ・図書館も大学の組織のひとつであるため、組織の連携や一体感を視覚的に表現する。？	19館
2-13	利用案内を表示する。 ・来館して利用する人のため、図書館の利用やアクセスの方法についてわかりやすく案内する。	65館
2-14	学外者への利用案内を用意する。 ・学外からのアクセスの多くが利用案内であることを考慮し、利用案内に容易にたどりつけるようにする。	38館
2-15	オンラインで図書館サービスの依頼を受け付ける。 ・図書館窓口で行っているサービスを案内し、オンラインでも依頼を受け付ける。	25館
2-16	文献検索データベースを表示する。 ・利用頻度の高いコンテンツへのリンクを用意し利便性を高める。	50館
2-17	電子ジャーナルへのリンクを用意する。 ・利用頻度の高いコンテンツへのリンクを用意し利便性を高める。	62館

表3. 「2.表示内容」調査項目

3-1	title要素でサイトを明確に示すタイトルをつける。 ・HTMLのtitle要素で各ページに必ずタイトルを付ける必要がある。	49館
3-2	学外から利用できないデータベースなど、利用に制限のあるコンテンツはその旨を明示する。 ・Webページはその機能上、誰でもどこからでもアクセス可能であるため、学外からの利用に制限があるコンテンツはその旨を明示する？	34館
3-3	画像・文字点滅を多用しない。 ・画面が点滅するのは本来の情報を読むのに邪魔になる。	49館
3-4	リンク部分の下線は消さず、リンクカラーもデフォルトに近い色を設定し、感覚的に分かるようにする。 ・テキストリンクの文字色は青(標準色)を使用し、下線は消さないほうが訪問者にとってリンクだと判断しやすく、他の色を使用するとクリック率が低下する。	46館
3-5	OPAC等の使用頻度の高いコンテンツや速報性が重要なニュースなどは、トップページの上部に表示する。 ・利用者の求めている情報、図書館の伝えたい情報を利用者に効率的に伝える。	17館

表4. 「3.表示・レイアウト」調査項目